

【崎】神奈川県三浦市的小網代パール海育隊（出口浩代表理事）は17日、同市・小網代湾で市内の小学生が参加する「マダイ稚苗放流体験会」を行った。

いた体長約9センチに育った大きな稚苗。小さなバケツに数尾のマダイ稚魚を紹介。また、「きょう放流してもらい、放流台を使い」「大きくなって戻つてきて」と声を掛けながら放流していた。

放流に先立ち同協会の今井利為事務は、小網代湾はかつてアマモが群生していた魚の幼稚仔の成長の場であったが、アマモがアイゴの食害に遭い、同海育隊は、小網代湾が日本での真珠養殖の発祥地であることを周知し、の体験教室を行うなどの活動に加え、稚魚放流を通じて海の環境保護と資源の大切さを知つても

いるなど海の環境悪化を源の大切さを知つても、これまで「きょう放流体験会を実施していだ以上に育つ」と説明した。

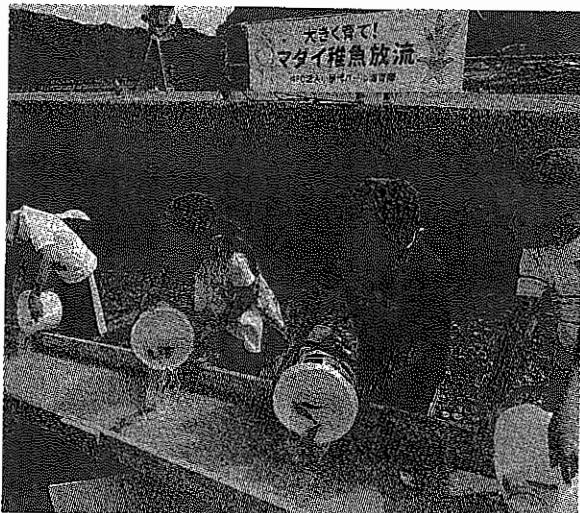
昨年は6校の小学生が

参加したが、今年は新型コロナウイルス感染拡大設立。児童らに真珠養殖参加となり、小網代湾に近い名向小学校の児童だけが徒歩で来て放流を体験した。

# マダイ稚苗放流体験会

小網代パール海育隊

## 小学校児童31人が参加



を行った。児童らは合計300尾のマダイ稚苗を繰り返し放流した。

放流会に参加したのは三浦市立名向小学校の3年生31人。神奈川県栽培漁業協会が陸上飼育して

「大きくなつて帰つてきて」と声を掛け放流する児童ら